

県政報告 まなぶ日和

山梨県議会議員 永井 学



●白熱の土木森林環境委員会!

- 「明野最終処分場の対応」について
- 「新御坂トンネル天井板撤去」について

●フォトギャラリー 活動を写真で振り返る

●活動コラム やまぼこ探検隊の活動を通じて

●平成25年11月定例会クローズアップ

「県民の日」記念イベントで、メンコレンジャーと!

ごあいさつ

ガッツ山梨!永井学です。2013年最後の議会を無事に終えることができました。2013年は自分にとって貴重な経験をさせていただいた年。念頭に「動」という字を目標にしましたが、文字通り動きまわり全国各地の議員と交流をし沢山の仲間を作ることもできました。2014年もガッツを出し山梨県のためそして皆さんのために汗を流す所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

山梨県議会議員 永井 学



活動 コラム

やまぼこ探検隊の活動を通じて

親子で歩く『やまなし』深発見ツアー やまぼこ探検隊



皆さん、山梨県好きですか?多くの方は大好きでしょう。ではどこが好きですか?生まれ育った地域、山、川、草原、湖などの豊かな自然、山梨県人の人柄、美味しい果物などなど山梨県は魅力一杯の県です。昔は外で遊び、様々な地域でのイベントを経験しながら、自然とそんな魅力に気付いていました。しかし、昨今はそんな体験も少なくなり子供達が山梨県の良さに気付くことが少なくなっている気がします。

そこで集まったのが異業種の若手メンバー「やまぼこ探検隊運営委員会」です。【山梨県の隠れた良さを伝え、子供達のDNAの中に山梨イズムを吸収してもらう。そしていつか大

学で県外へ出ても故郷山梨県に帰ってきてもらいたい!】。そんな思いで企画されたのが「やまぼこ探検隊」というイベントです。

一昨年からスタートしたこのイベント。子供達に探検しながら山梨県の隠れた良い場所、物、事柄を体験してもらおうというバスツアーです。子供達は用意されたミッションをクリアし、知らず知らずのうちに山梨県が好きになるというもの。第1回目は山梨県の代表的な観光名所「昇仙峡」をよりディープに体験!そして昨年行われた第2回では、富士北麓地域で青木ヶ原樹海を探検しました。いずれも大好評でした。「とっても楽しかった。山梨県を好きになった。また来年も参加したいです」と子供達から言われたことが活動の原動力となっています。

地道ではありますが、毎年このイベントを行い山梨の魅力が発見!一人でも多くの「山梨大使」が誕生してもらえればこんなに嬉しいことはありません。

私もその会のメンバーとして積極的に活動に参加したいと思えます。



編集 後記

自分の息子が今年の3月で2歳の誕生日を迎えます。研修等で3日家を空けると出来なかった迎えます。残り1年、自分も息子のように様々なことを貪欲に吸収し、山梨県のため甲府市のため、県民のみなさんのために全力で働いてまいります。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

平成25年11月 定例会クローズアップ

- 1) 明野最終処分場閉鎖! 本会議、委員会等で審議
漏水検知システムの不具合が引き金となりました。
- 2) 職員・議員の給与減額条例
ボーナスも減額されることとなりました。
- 3) 指定管理者の更新審査
各常任委員会で次年度以降の指定管理者について審査しました。

また、関東地方を中心広く観光客が訪れるため、国などの機関も通じて、お知らせをしたいと思います。



執行部…新御坂トンネルについては、委員ご指摘のとおり、影響が大きいと考えており、現在、広報や周知の方法について、庁内で議論を行うなど検討を進めております。観光などでは団体のパッケージツアーなどの企画が始まる時期であると聞いていることから、観光については、観光部の協力も得て、日本旅行業協会、全国旅行業協会、日本バス協会、山梨県バス協会というようなどころへ、通行止めのお知らせを出しております。

永井…新御坂トンネルは県外利用者も多く早い段階から広域的な周知をする必要があると思いますが県の所見をお伺いします。また旅行業界には全国組織もあり、少なくとも関東支部くらいには周知してもらいたいと思いますがどうでしょうか？

2014年5月26日から6月30日まで、甲府盆地と富士北麓地域をつなぐ重要なトンネル「新御坂トンネル」が通行止めとなります。観光客等の影響を考え、素早く、広域的な周知が必要と提案しました。

「新御坂トンネル天井板撤去」について

〜県土整備部関係〜

永井…最終的に54億円の赤字となる明野最終処分場は、天野県政における平成5年9月の建設予定の決定

度重なるトラブルにより県が操業停止を決めた「明野最終処分場」。およそ20年に渡り、時の県政に様々な問題を投げかけたこの施設について、過去のようないくつかの原因でこうなったのか、その検証はしっかりすべきだと発言しました。

「明野最終処分場の対応」について

〜森林環境部関係〜

土木森林環境委員会(県土整備部、森林環境部所管)



白熱の土木森林環境委員会!

山本県政における平成17年11月の建設地の再決定、平成18年10月の着工、横内県政の平成21年5月の供用開始とこれまでに、およそ20年の長い経緯があります。知事が今回閉鎖の判断をしたことに関しては、理解はいたしますが、この長い20年の間にさまざまなことがあったと推察いたします。この54億円余りの税金を死に金にしないためにも、今回どういったことでこのようなことになったのか。さまざまな答弁の中に、閉鎖の理由は「施工業者のミスが大きき原因」であると述べておられますが、その他にもさまざまな原因があったと私は考えています。地元の方への交渉が十分であったか。用地決定の過程の中で県に何か瑕疵がなかったのか。決定の過程を県民へ説明ができていたのか。など、今回の閉鎖決定をするに際して、それらの部分を含めた20年間の原因の究明を県庁の中で行ったのか伺います。

執行部…環境整備センターについては、平成21年5月の操業までに地元へ長年の交渉など紆余曲折があったが、平成21年6月に経営審査委員会において、当初、開業前には1,800万円の赤字と公表していたが、かなり厳しいとのことでも検証を行い、その中で過去の開業までの取り組みについても検証していただきました。

永井…54億円という県費を投入して、処分場を閉鎖するため、閉鎖を決めた段階で県が原因を精査し、検証した後に県民へ説明をしなければ、県民の理解は得られないと思います。昨年、中小企業高度化資金の不良債権の処理において、多額の税金を投入していますが、この時は、弁護士、公認会計士、金融の専門家による第三者委員会を設置して、貸し付け手続きの経緯と債権管理の状況、不良債権の処理方針について、調査・検証し、

その提言に基づいて、改善策をつくっています。今回も多額の県費を投入するため、このような第三者委員会を設置して検証を行い、改善策をつくるべきだと考えますが、県の見解を伺います。

(永井の意見)
これ以外にもやり取りをしましたが、平成21年6月の経営審査委員会でも検証は行ったとする答弁は変わりませんでした。過去に行った検討ではなく、閉鎖になった今、この時、ここまですった経緯をしっかりと反省し次に活かしていく努力なくして県民の皆さまの理解は得られないと思っております。

森林環境部長は「県民の皆様への説明を丁寧に行っていく」ということについては、設置の経緯も含めて、丁寧に説明していきたい」と述べました。その結果、昨年末12月30日県政だより「ふれあい」の号外を発行し新聞折り込み等により県内全戸に配布されました。その中で今回の閉鎖の原因や根拠などについて分かりやすく説明されています。皆様はどんな感想をお持ちになったのでしょうか？

フォトギャラリー 活動を写真で振り返る



中道地区恒例草刈り



県畜産試験場視察



県ふるさと物産品フェア



スウェーデン 子育て施策視察



山城小学校放課後児童クラブ視察



山城支部ボウリング大会



甲府市制祭に参加



防災新館オープン記念式典



都道府県議会議員研究交流大会



子供達に山梨県の良さを伝える「やまぼこ探検隊」



山梨大学の生徒さんと意見交換会



北新保育所 世代間ふれあい交流広場



北新地区文化祭参加



北新支部日帰りレクリエーション